

サロンの基礎知識

♣ 活動内容について

自由に運営・企画ができます。参加者の希望をとりながら毎回違った企画を立てたり、定例で同じものを続けていくことも可能です。

おしゃべり会・手芸・もの作り・園芸・健康体操・ゲーム・ビデオ鑑賞会などはいかがでしょうか。



♣ 参加者について

見守り等が必要な地域の高齢者等が中心となります。さらに、会を運営していく協力者が必要不可欠です。

♣ 参加人数について

少人数からも気軽に開催することができます。開かれたサロンになるように新しい方も受け入れていきましょう。

♣ 開催場所について

地域公民館など地域のみなさんが歩いていけるような近い場所で開催することが大切です。近所の公園なども企画してはいかがでしょうか。

♣ 開催頻度について

親睦を深めるのはもちろんですが、近況確認のためにも概ね月1回程度の開催を目指しましょう。あくまでも無理のない活動ですので、都合が悪く、やむを得ず開催できない場合はお休みをされても結構です。

♣ 参加費用について

会費を集めるかどうかはサロンの運営をする方と参加者の意向にお任せいたします。会費を集める場合、金額は参加されるみなさんにご相談のうえ、お決めください。ただし、営利目的ではありませんので、茶菓代程度になります。



サロンでのプライバシー

サロンは信頼関係が大切です。サロンで得た情報は、本人のプライバシー保護のためにサロン以外では話してはいけません。個人情報(名簿など)の保管、管理は万全にし、安心できる活動を行いましょう。



社会福祉協議会の支援

立ち上げ時の支援

- ・参加者を募集する場合、必要があればPRチラシ等をお作りします。
- ・ご近所の方で協力できる方がいらっしゃれば、紹介いたします。
- ・他のサロンの見学ご希望あれば、調整いたします。
- ・その他立ち上げに関し、困ったことがあればご相談ください。

立ち上げまでの支援

- ・立ち上げの準備費用として、補助金(5万円を限度)を交付いたします。備品などの購入ができます。ただし、補助金申請書と実績報告書(領収書写添付)が必要となります。
- ・手続き等については、担当職員が相談いたします。

立ち上げ後の支援

- ・運営費の補助をいたします。年6回の定例会開催が条件となります。1回あたりの参加人数が、9名以下1,000円、10人~19人1,500円、20人以上2,000円を基準とし、一括して助成をいたします。
- ・レクレーション用品やDVDなど、必要な機材等の貸出しをいたします。
- ・講師や指導員等の紹介をいたします。
- ・サロン活動時や会場と自宅の往復におけるのけがに対する保険について、斡旋いたします。
- ・運営に関し、困ったことがあればご相談ください。

※その他サロンの詳細については、お問い合わせください。



☆問い合わせ先☆
社会福祉法人 東根市社会福祉協議会
東根市中央一丁目3-5
TEL 0237(41)2361
FAX 0237(42)1350



地区内にこんな方いませんか？

- ご近所で気軽に楽しめる場所は？
- 独り暮らしで誰も話し相手がないの！
- 近所の方と仲良くなりたいの！
- 近所で集う場所があれば声かけてほしい！
- 寂しいわ。相談相手がほしいな！

ふれあい・いきいきサロンをつくりましょう！



サロンの5つの効果

1

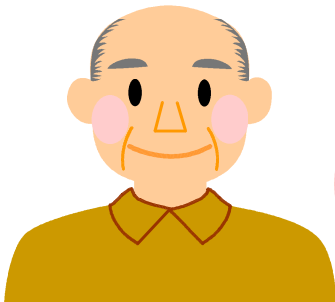
適度な精神的刺激

人とふれあう緊張感が適度な精神的刺激となります。

2

友達が増えます。

サロンをきっかけに新しい交流が広がります。



3

生きがいができます。

サロンで役割ができ、必要とされる喜びを味わうことができます。



4

体を動かす習慣ができます。

サロンに出かけることで、外出の機会が増えます。

5

生活のメリハリ

サロンの日に定期的に人と会うことで身だしなみにも気を配るようになります。

高齢者

ふれあい・いきいきサロン事業

東根市社会福祉協議会

東根市社会福祉協議会ではサロン活動の立ち上げ・支援をしています！

♪気軽に、無理なく、楽しく、自由に♪ がモットーです！



☆ふれあい・いきいきサロンとは？

地域みなさんが自発的に自由な発想でできる
気軽な交流の場です。

お茶などを飲みながらおしゃべりなどをし、参
加者全員で楽しい時間をすごします。

サロンの目的

交流の場を広げることで住民がより地域に対して関心を持ち、となり近所での助け合いをはくくむ地域づくりを目的とします。

また、サロンに参加することで、それぞれが役割を持ち、参加者自らの生きがいの場とします。
ひとり暮らしの高齢者にとって、いざという時に頼りになる人や精神的な支えになる人がいて、安心して暮らせることは大切なことです。

そのためには、住民の方々が互いに支え合い助け合う地域づくりが必要です。地域にサロンをつくり、サロンを通して住民の方々が交流を深める活動をすることによって、福祉のまちづくりを進めていきます。

